

取扱説明書

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は良くお読みいただき大切に保管してください。

XV

MULTI GAUGE ø60
EURO SPEC

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●製品の固定、配線処理は確実に 製品固定や配線処理は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	---

- 1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。**
- 2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。**
- 3. 故障診断コネクタを利用するPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ <http://pivotjp.com/obd/>**

内容物をご確認ください



XVの特長

XVは故障診断コネクタに差し込むだけでVW・Audi専用のCAN通信を解析し、3種類を切替表示できるメーターです。(対応車以外は不可)

3種類表示 ブースト・水温・油温の3種類を切替表示	スムーズ動作 独自制御で滑らかな針動作	同色イルミ 純正同色のインディゴブルー照明 (XV) 純正同色のホワイト照明 (XV-A)
ピークホールド ピーク値を表示	簡単装着 故障診断コネクタに差し込む簡単装着	ステッピングドライブ 高精度ステッピングモーター採用で高精度表示

各表示と用途

<p>1. ブースト(絶対圧表示※1)</p> <p>▶表示 -100~154Kpa</p> <p>▶用途 ●ブーストチェック ●エコ走行用 [バキューム]</p>	<p>2. 水温</p> <p>▶表示 -40℃~155℃</p> <p>▶用途 ●オーバーヒート ●暖機チェックなど</p>	<p>3. 油温</p> <p>▶表示 -40℃~195℃</p> <p>▶用途 ●エンジンオイルの温度チェックなど</p>	<p>4. ピークホールド</p> <p>▶用途 各ピーク値の確認</p> <p>※ピーク計測は表示中の項目のみで、表示をしていない項目のピーク値は計測されません。</p>
---	--	---	---

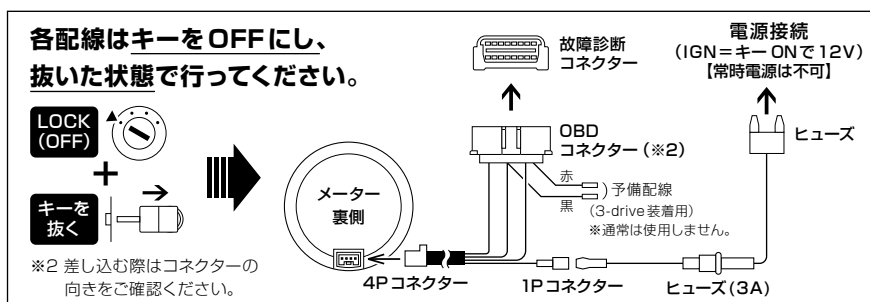
【各ピークの参考値】

- ・ブースト
ゴルフGTI (BWAターボ)=約95Kpa
ゴルフGT TSI (BLGツインチャージャー)=約140Kpa
- ・水温 通常=80~100℃
- ・油温 通常=80~120℃

※1 絶対圧表示は気圧を含みますので絶対圧(機械式)と多少数値が異なる場合があります。
※1 キー ON 時のブースト指針は標高に応じて多少マイナスの表示となる場合があります。

⚠ ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。

配線接続方法



【参考1】 OBDコネクタの取扱注意

差し込み時・抜き取り時はこの凸部を持って行う。

凸部が握れない場合

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部が握れない場合があります。その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

コネクタを抜く際は、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

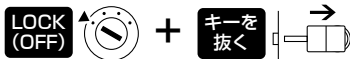
1 OBDコネクタを接続する

① 故障診断コネクタの位置を確認します。

② OBDコネクタを故障診断コネクタの根元まで差し込みます。

続いて、電源接続を行います

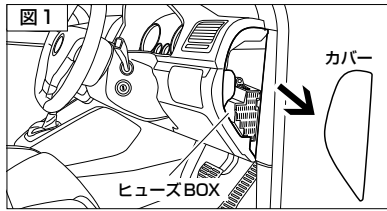
ヒューズ交換はキーをOFFにし、
抜いた状態で行ってください。



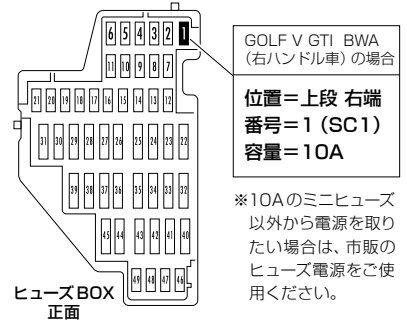
2 電源接続をする

下記はGOLF V GTI BWA (右ハンドル車) でヒューズBOXへ配線する場合の一例です。
その他の車種で不明な場合はディーラー等でご確認ください。

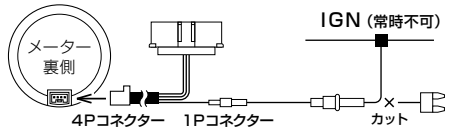
- ③ 運転席右横のカバーをドライバーなどを使って外します。(図1)
- ④ ヒューズBOXのIGN 供給できるヒューズ (キー ONで12V、常時電源は不可) を抜き、付属のヒューズ電源コードをそこへ接続します。
- ⑤ OBDコネクタから出ている1Pコネクタへヒューズ電源コードを接続します。



【参考2】指定ヒューズ位置例



ヒューズBOXで電源が取れない場合はIGN (キースイッチONで12V) へ直接配線を行ってください。

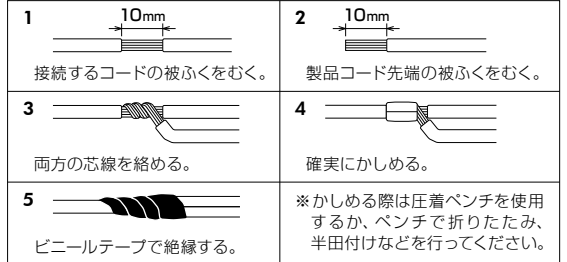


■ = カットギボシ (またはハンダ付け)
※OBDコネクタから出ている赤コードへは接続しないでください。

！ OBD2製品の併用について

本製品を3-driveシリーズ (FLAT, COMPACT)、PROGAUGE と併用する場合、別売のOBD2配線キット (OBD-EH ¥3,200・税別) を使用すると簡単に取り付けられます。製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。⇒ <http://pivotjp.com/obd/>
※本製品と上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

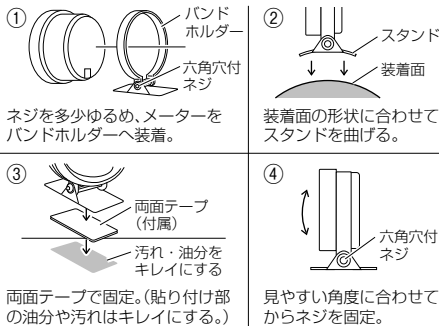
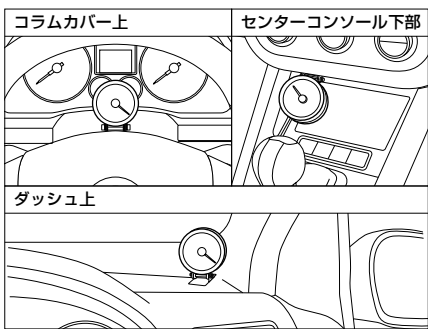
【参考3】カットギボシの使い方



製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

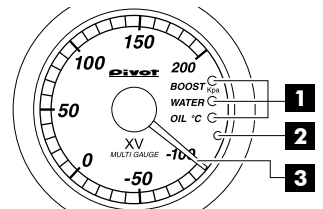
A バンドホルダーを使用する 強度のある場所へ両面テープを使用して固定します。



B パネルなどに埋め込む



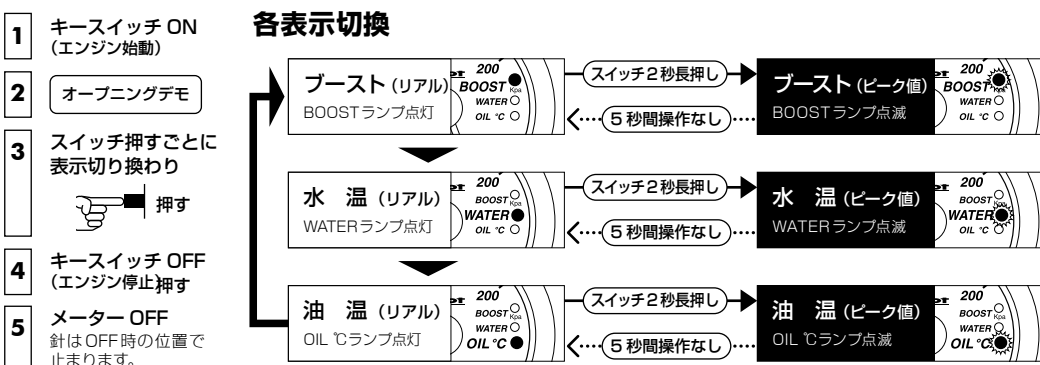
各部の名称



- 1 **モードランプ**
使用しているモードを表示。
- 2 **スイッチ**
モード切り換えやピーク値操作。
- 3 **針**
現在の数値やピーク値を指します。

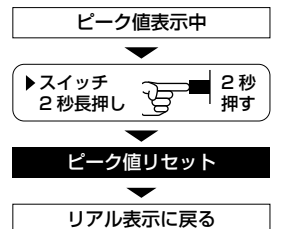
基本操作方法

※ピーク値の計測は表示中の項目のみで、表示中以外は計測はしません。
※モード切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると記憶されません。



ピーク値のリセット方法

※リセットはピーク表示している項目のみです。



※各ピーク値はキーOFFでリセットされます。

故障と思われるまでに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	4Pコネクタ、OBDコネクタ、ヒューズ電源の接続不良。 電源を直接配線した場合の赤コードの配線間違いか接触不良。 対応外の車種に取り付けている。	4Pコネクタ、OBDコネクタ、ヒューズ電源の接続状態を確認する。 赤コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。 対応車種表をご確認ください。
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。	
キーON時ブースト指針がマイナスになる。	絶対圧センサーは気圧分をマイナスして表示します。(例: 標高700m地点 = マイナス8Kpa)	
始動時、切り換えたモードから始まらない。	モード切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると設定は記憶されませんので3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
キーON時、油温表示が一度マイナス側になる。	クルマのデータ上の動作で正常です。	
キーOFF時、針が0で止まらない。	ムーブメント上の特性で故障ではありません。	